



# 渋沢栄一記念館だより

No.2

## ◆ 渋沢栄一記念館だよりの発行について

渋沢栄一記念館は、渋沢栄一に関する資料を収集、保管及び展示し、市民の教養及び文化の振興に寄与するために設置されました。「渋沢栄一記念館だより」は、渋沢栄一顕彰の一環として当館の取組を発信するために年1回程度発行して参ります。



## ◆ 令和6年度をふりかえる

### ○ 渋沢栄一を肖像とする一万札の発行

令和6年7月3日、渋沢栄一が肖像となった新一万円札が発行されました。前日の夜から渋沢栄一記念館・八基公民館の体育室を会場に、カウントダウンイベントを実施し、多くの方とともにその瞬間をお祝いしました。また、翌日は深谷市役所を会場に、渋沢栄一が設立に関与したビール会社（アサヒビール、サッポロビール、キリンビール）にも出店いただき、ビアフェス～万歳とSAKE Beer Tonight（サケビタイ）を開催しました。さらに、7月14日には、「渋沢栄一の帰郷」をテーマに、大河ドラマ「青天を衝け」出演者や市民の参加による新一万円札発行祝賀パレードを市役所通りで行いました。また、企画展示をはじめ、以下のとおり各種事業を実施いたしました。

### ○ 企画展

#### 【ふるさとに残る渋沢栄一の肖像】

開催期間：令和6年6月11日(火)～11月17日(日)

新一万円札の発行を記念し、ふるさと深谷に残る渋沢栄一の肖像（写真・絵画・銅像など）を紹介する展示を実施しました。帰郷した際に「中の家」の庭で撮影されたものや、題字を書いた耕地整理記念碑の前でたたずむ姿が収められた写真などを、資料の状況に応じ、パネル化するなどして展示しました。また、埼玉学生誘掖会（ゆうえきかい）旧蔵の肖像画は、同会有志の拠金により、洋画家清水良雄が描いた作品で、令和5年度に修復を行ったものでした。その他にも「中の家」や尾高惇忠生家旧蔵の胸像などを紹介しました。



渋沢栄一（渋沢邸「中の家」にて）

## 【収蔵品展】

開催期間：令和6年11月19日(火)～令和7年3月10日(月)

企画展ではテーマに沿わない等の理由でなかなか紹介することが叶わなかった資料を中心に、新紙幣発行に因み、「お金」にまつわることや、渋沢栄一や栄一と関わりの深い郷土の人々を紹介する展示を開催しました。栄一が一橋家の勘定組頭として発行に関与した「一橋家木綿預手形」や栄一の伯父である渋沢誠室の書いた「金のなる木」、血洗島諏訪神社への寄附目録などを展示しました。



渋沢栄一書「至誠」

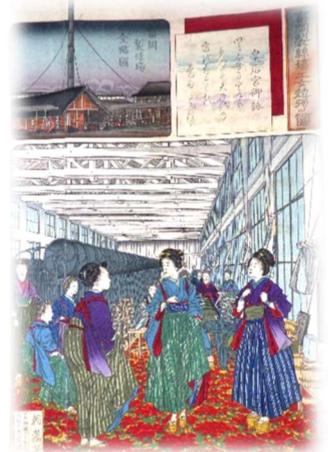


御産物木綿預手形(一文目)

## 【渋沢栄一と蚕糸業】

開催期間：令和7年3月12日(水)～令和7年6月22日(日)

「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界遺産となって10周年を迎える節目の年度でもあることから、渋沢栄一と蚕糸業の関わりを紹介するものです。栄一が明治政府の改正掛長として制定に関与した「蚕種製造方法及税則」「蚕種規則附録書」や、設置の主任をつとめた富岡製糸場の描かれた錦絵、栄一書「蚕霊祭」などの資料を展示しました。



「富岡製糸場工女勉強之図」(貼込帳より)

## ○栄一塾

新一万円札の発行を受け、渋沢栄一にさらなる注目が集まるなかで、見ておきたいスポットをめぐるバスツアーを開催するとともに、事前にそれらのスポットなどについてわかり易く学ぶことができる連続講座を開催しました。

□第1回「新紙幣発行後の渋沢栄一について」(10月27日(日)開催)

…木村 昌人先生(東アジア文化交渉学会評議員)

□第2回「受け継がれる“渋沢初代会長の志”～帝国ホテルの企業理念と今後の展望」

(11月27日(日)開催)

…渋沢 雅道さん(帝国ホテル総務部 総務課 SDGs 推進 社報編集長)

□第3回「貨幣の歴史と渋沢栄一」(12月8日(日)開催)

…関口 かをり先生(日本銀行金融研究所貨幣博物館主任学芸員)

🚌バスツアー(12月17日(火)開催)

…日本銀行貨幣博物館—帝国ホテル東京—国立印刷局東京工場

## ○スタンプラリー

点在する渋沢栄一関連のスポットを巡ってスタンプを集めた方に記念品を進呈するスタンプラリーを、一万円札発行や渋沢栄一月間（命日のある11月）、生誕日である2月13日にあわせて実施しました。日程は以下のとおりです。第3回では新たな周遊の取り組みとして、青淵公園にある渋沢栄一の言葉看板を活用したクイズを盛り込みました。

第1回 令和6年6月11日(火)～7月12日(金)

第2回 令和6年11月1日(金)～11月15日(金)

第3回 令和7年2月5日(水)～2月25日(火)

## ○旧渋沢邸「中の家」主屋が耐震改修優秀建築賞を受賞

令和4年2月から翌年4月にかけて実施した、旧渋沢邸「中の家」主屋構造補強及び改修工事が、耐震改修優秀建築賞を受賞しました。この賞は、耐震改修を実施した既存建築物のうち、特に耐震性、防災・安全性、意匠等に優れた建築物及びその関係者等を表彰し、広く公表することにより、日本の既存建築物の耐震改修の促進に寄与し、健全な建築ストックの形成に貢献することを目的としたものです。

偶然にも渋沢栄一の誕生日にあたる令和7年2月13日(木)に東京都内で表彰式が行われ、一般財団法人日本建築防災協会から、所有者である深谷市と施工した清水建設株式会社の連名で、賞状と賞碑をいただきました。



耐震改修優秀建築賞碑  
(記念館公式 Instagram)

## ○旧渋沢邸「中の家」主屋で王将戦を開催

令和7年3月8日(土)、9日(日)にALSOK杯第74期王将戦第5局が、旧渋沢邸「中の家」主屋で開催されました。藤井聡太王将が永瀬拓矢九段に勝利し、通算4勝1敗として王将のタイトル防衛を果たしました。



王将戦  
(記念館公式 Instagram)



## ○資料の修復

渋沢栄一書「至誠」、渋沢宗助（栄一の伯父）書「金のなる木」を修復し、両資料ともに令和6年度収蔵品展にて展示、紹介しました。

市長公室に展示されていた清水良雄が描いた渋沢栄一肖像画を修復しました。

渋沢栄一の書簡3点を修復しました。機会をみて今後の展示等で紹介して参ります。

さらに、経年劣化により亀裂が生じていた旧渋沢邸「中の家」主屋上座敷の襖修繕を行いました。上座敷は、帰郷した渋沢栄一が滞在するための空間として特別に念入りにつくられた部屋であり、今回の襖修繕も作成された当時にできる限り近い形状に復し、かつ長期間にわたり維持されるよう配慮した施工になっています。



旧渋沢邸「中の家」主屋上座敷

## ○ボランティアの会との協働事業

「渋沢栄一翁と論語の里」ボランティアの会は、市民有志によって結成された団体です。

「論語の里」エリアの活性化を目的として、市民協働の趣旨にもとづき、当館から以下の事業を委託して実施しました。

- ・尾高惇忠生家における「解説ガイド」
- ・渋沢栄一ゆかりの地をゆっくり歩いて案内する「論語の里まち歩きツアー」
- ・渋沢栄一の著書「論語と算盤」にちなみ論語に親しむ「論語教室」
- ・旧渋沢邸「中の家」南側施設で来場者への憩いを提供する「おもてなし」

## ◆編集後記

新一万円札の発行もあり、本年度は当館へ10万人以上のご来館をいただき、改めて渋沢栄一への関心の高まりを感じるどころです。これを受けてか、当館の資料室入口や旧渋沢邸「中の家」主屋内に設置しております募金箱には、100万円を超える浄財をいただきました。皆様の御芳志に感謝申し上げます。この「論語の里」施設維持管理協力金は、その名のとおり各施設の維持管理等に充てて参ります。

さて、令和7年度は、新一万円札の発行から1周年となる7月3日を中心として、ビアフェスやお札サミットの開催を予定しております。なお、従来からの事業である企画展や栄一塾、スタンプラリーもこれを記念したものにブラッシュアップしていくことを考えております。また、この渋沢栄一を肖像とする新一万円札の発行による盛り上がりをも、一過性に終わらせないような事業展開を今後も検討して参りますので、引き続き本市事業へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

発行：令和7年3月31日 深谷市渋沢栄一記念館

〒366-0002 埼玉県深谷市下手計1204番地 電話：048-587-1100 FAX：048-598-4331

HP：「渋沢栄一デジタルミュージアム」[https://www.city.fukaya.saitama.jp/shibusawa\\_eiichi/index.html](https://www.city.fukaya.saitama.jp/shibusawa_eiichi/index.html)

公式インスタグラム：eiichi0213\_official 更新中！